

【ポスターセッション発表団体一覧】

甲南大学理工学部生物学科

ほぼ毎日、公園内で野草（絶滅危惧種を含む）の調査と保護活動を行っています。明石公園の長い歴史の中でも野草の調査や保護活動は、開園以来初めてのことです。自然を大切に思う気持ちを育んでいくことを目的として、毎月第1日曜日に自然観察会を行っています。観察会の中で明石公園の野草についてよりよく知っていただく機会をつくっています。



生活協同組合コープこうべ

コープこうべでは、買い物にはマイバックをお持ちいただき、レジ袋が必要な方には1枚5円でご利用いただく「マイバッグ運動」をすすめています。このレジ袋代金の一部を活用し、2008年度から10年間の予定で、「コープの森・杜家郷山」（西宮市内の里山）の保全・整備と、現地での学習活動を展開しています。「山とくらしをつなぐ学びの森」をテーマに、保全・整備によって多様な生物を育む場となり、私たちの食べ物を豊かにすることとも密接につながることを楽しく、体験的に学べる場をめざしています。今年5月には、兵庫県版レッドデータブック2010でAランクに指定された「ヒメヘビイチゴ」も発見されています。



お米の勉強会

「私たち自身の力で農林業・食べ物・環境をよくしよう!」を目的として、1986年会設立以来、様々な活動を行ってきて、現在に至っていますが、近年は、気候変動問題の要である食料の確保のために「たね」が重要と気づき、本来「食料と農業の条約」で

ある生物多様性条約が、地域に残る栽培作物の種を、地域の文化とともに継承保存する強力な条約になるよう、10月のCOP10に向けて市民や行政に、訴えています。



神戸カワバタモロコ保全推進協議会

兵庫・水辺ネットワークは、カワバタモロコという小さなコイ科の希少淡水魚に着目し、住民等と協働した域内保全活動を通して、生物多様性の保全活動をおこなっています。地域の生物多様性を保全していくためには、「豊かな自然は地域の誇り」という住民の認識と、考え、水利権者、自治会、地元の学校、行政機関等と連携し、保全活動を行っています。



日本熊森協会

私たち日本熊森協会は、大型野生動物の棲む保水力豊かな自然の森を日本の奥山水源に残し、次世代に手渡すために森の最大獣であるクマをシンボルに全国規模にて活動を続けている完全民間の実践自然保護団体です。日本最大大型獣であり自然界のあらゆる恩恵を受けて生きているアンブレラ種であるクマの棲める環境を残せば、他の全ての生物が生息可能な生物多様性豊かな自然を残すことになるため、奥山保全再生を目指しています。



兵庫県立三木山森林公園

当公園は「人と森林との共生」をテーマに整備された森林公園です。広さは、甲子園球場の約20倍、81ha。その8割を占める森林をベースに、公園内の生物多様性を増すための自然環境調査、草原・水辺環境の創生、森林整備などに、公園ボランティア「三木サポーターズ」とともに取り組んでいます。その自然を活かして、環境学習の受入、園内で集めた自然素材を使ったベンチ作り、クラフト制作にも積極的に取り組んでいます。



兵庫運河 真珠貝プロジェクト

神戸港で明治以来歴史のある兵庫運河で、子どもたちと保護者があこや貝を育成することで、生き物の生命に及ぼす影響を実際に経験する活動です。学んだことを地球環境の保全へと発展させるプロジェクトとして、産業廃棄物であった貝の貝殻を再利用する活動を実施しています。また採集されたあこや真珠を身につけて、自己表現を図るプログラムとなっています。



福田川クリーンクラブ

福田川クリーンクラブは、地域の顔である“福田川”を①少しでも綺麗にしたい②水質を浄化し、ホタルが飛べる環境を取り戻したい③街や川にゴミを捨てない、優しい気持ちを育みたい④心を癒すことができる、素敵な川にしたい・・・など思いながら、毎月1回4



カ所で清掃活動を行っています。

小学校での環境学習、フォーラム・交流会、川祭り、水質調査、ホタルを飛ばす等の活動などにも取り組んでいます。

やしろの森公園協会

兵庫県立やしろの森公園では豊かな里山の環境を保全するとともに環境学習の場としての取り組みを推進しています。パナソニック株式会社と協働で実施する環境教育プログラム「地球の未来を担う子どもたちを育むプロジェクト～みんなで育てる！いきものあふれるゆめのもり～里山の水辺編」の概要をご紹介します。



六甲山自然案内人の会

六甲山の自然をより多くの人々に伝え、その自然を守り育て、生物多様性の保全に貢献することを目指しています。

六甲山は100年前まではげ山でした。今日その六甲山では1700種類の植物が命を育んでいます。これはひとえに私たちの先人の努力の賜物です。

今後の六甲山も私たち自らの手で守り育てていかなければなりません。それこそ六甲山自然案内人の会が担うべき役割であると考えています。



兵庫県立大学附属高等学校

自然科学部 生物班 兵庫県立大学附属高校自然科学部生物班では、「郷土の絶滅危惧種の保全と増殖」研究テーマの一つとして活動しています。オートクレープを使わない無菌培地の製造技術の開発により、絶滅危惧種であるサギソウなどラン科の無菌播種や、2010年版兵庫県レッドデータブックで「絶滅」に分類されたムラサキ播磨株の系統維持のための累代栽培な

どを行いながら、近隣の希少植物群落の調査なども行っています。



ため池、湿地帯生き物保全グループ

ため池、湿地帯に生息している生きものは地域にとって大切な財産である。これた生きものと生息環境を保全し、次世代を担う子供達に生きものとの触れ合い、命の尊さを野外体験出来る場とし、良好な状態で残して行きたいと考え活動しています。



1. ため池、湿地帯に生息している生きもの調査、観察、保護等
2. 外来種の生息状況調査と除去活動
3. 生息地の環境調査、リハビリ等
4. 保全のための啓発活動

加西市

加西市は、低炭素・循環型社会形成、エネルギー地産地消を目指し、「減CO₂（げんこつ）プロジェクト」と称して、様々なバイオマス事業を推進中です。特に、廃食用油をBDF燃料に精製し、公用車などに使用するBDF事業は、初期投資、廃食用油の回収、精製などで民間企業と協力し、公民連携事業の走りとして注目を集めました。この他、かぐや姫プロジェクトや与作プロジェクトなど、楽しく分かり易い環境取組



を展開しています。

社団法人兵庫県自然保護協会

1971年設立（1974年社団法人として認可される）、現在県内5支部による毎月1回の支部例会（自然観察会等）及び本部事業の観察会・研修会等を行っています。また、主な調査・研究としては、県全域を対象にオオサンショウウオ生息状況調査及び保護対策、県内全域を対象に森林性コウモリ類の分布調査等を継続実施しています。また、他機関・団体等の依頼により、各専門の講師・調査者の派遣等を行っています。



ひょうごの在来種保存会

1. 「種採り人」の登録
2. 登録された「種」の情報整理と配布
3. 栽培・自家採種の呼び掛けと採種・保存技術の向上
4. 在来種・固定種の普及活動
5. 会員相互の交流と関係機関との情報交換
6. 伝統料理の復活と料理・加工のレシピ募集
7. 食農教育の推進
8. その他目的達成に必要なこと



武庫川づくりと流域連携を進める会

当会は2007年に発足し、武庫川流域を活動ベースとし、武庫川流域委員会と提言した武庫川づくりを進めるための多様な活動を実施しています。

- ①武庫川水系約30カ所での経年的な水質調査とフォーラム。
- ②天然アユの生息環境を改善するための調査やフォーラム。
- ③武庫川の生き物ウォッチング・ワークショップ。
- ④武庫川と沿川都市の川まちづくりへの提案。

- ⑤武庫川と街の歴史・文化をよく知るためのガイドブックの編集・発行。



新日本流通株式会社

当社は、1973年（昭和48年）の設立以来、独自に構築した全国規模の1.8●びん（一升びん）の流通用プラスチック箱（P箱）レンタルと循環を基盤とした「レンタル&リユースシステム」により、全国の酒造メーカー等にP箱をレンタルしています。



兵庫県立淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」

大阪湾埋立地の土取跡地に「自然と人間の共生」を求め、緑の再生と創造を進める淡路夢舞台のテーマ館。

希少植物を収集するだけでなく生物多様性の美しさ・重要性を五感で体感できるように、環境ではなく自らの姿を変える植物の巧妙な生き様やその中に潜む科学性を「形、色、香り」等に焦点をあて展示・収集を行っています。また、日本独特の園芸文化を継承する為に、栽培し続けないと守れない古典園芸植物の収集・栽培・展示を行っています。



兵庫県立いえしま自然体験センター

当センターは「海の世界学習の拠点」として、主に子どもや家族連れへの環境教育に取り組んでまい

た。その中でも「海辺の環境リポーター事業（日本財団助成事業）」は、他に例のない子ども自身が創り上げる環境学習プログラムとして注目されています。今年度の新たな取組みとして海洋生物入門講座（高校生物部の合同合宿）、地元家島高校生への授業実施、教員対象の海洋生物実践指導講座を実施し、環境学習の対象を拡げつつあります。



アマフォレストの会

尼崎の臨海部にある尼崎の森中央緑地では、平成18年から約27haの埋立地に生物多様性豊かな地域性ある森を育てています。アマフォレストの会は、兵庫県の尼崎21世紀の森構想に基づいて尼崎の森中央緑地の森づくりを進める市民団体です。地域の森で採取したタネから苗木を育て、100年の森づくりに挑戦しています。



兵庫県立篠山産業高等学校丹南校

学校のすぐ横を武庫川が流れています。武庫川には、ホタルやトンボが飛び交い、水の中にはメダカやタナゴが群れ泳ぐ自然豊かな環境が残されています。篠山産業高校丹南校は、ホタルの調査を通じて身近な河川の環境について研究を行っています。また、地域の里山にも注目し、「里山文化」という学校独自の科目を開講しています。この科目を通じて里山の自然やその環境を学び、人々の生きていく環境について考えてい



ます。

NACS-J自然観察指導員兵庫連絡会

自然観察会などを開催し、参加者に対し、自然と付き合うことの楽しみを広げる活動をしています。またメンバー間のつながりとどまらず、組織の枠を超えた交流を大切にしたネットワークにより、活動の場となる自然を守るように努力しています。



財団法人ひょうご環境創造協会

昨年度は、地球温暖化の視点から生物多様性について考える「環境NGO・NPO Hyogo対話」を開催し、会場での情報交換と討議をもとに「提言」を作成しました。この提言は、環境関連イベントや、コペンハーゲンでのCOP15の会場等において配布するなど広くPRを行いました。今年度は、市民の視点から生物多様性について考える「環境NGO・NPO,市民のHyogo対話」として、この「提言」を深め、より具体的な行動に取り組んでいくことを目的に、生物多様性連携講座の開催、生物多様性国際シンポジウムの開催、COP10における提言・宣言作成などの事業を進めています。



兵庫県立森林動物研究センター

当研究センターは、人と野生動物と森林等自然環境との調和の取れた共存を目指して、科学的・計画的な野生動物の保全と管理（ワイルドライフ・マネジメント）を推進するうえで必要な科学的知見と情報を提供する拠点施設として平成19年4月に開設されました。主な活動内容は、野生動物による農林業被害・人身被害のほかシカ等による生態系被害を抑制するための調査研究、普及啓発を行っています。また、希少な野生

動物の生息状況を把握するとともにその遺伝子を調べて今後の保全の在り方を検討しています。



兵庫県立人と自然の博物館

わが国屈指の自然・環境系博物館です。自然環境に関する県内最大の生涯学習支援機関かつシンクタンクでもあり、生物多様性ひょうご戦略の策定、兵庫県版レッドデータブックの編纂などに、ひとはくの資産を活用いただいています。10月には、COP10にあわせて開かれる生物多様性交流フェアに出展し、ガイドツアーや現地での自然観察会も行います。

